

(長岡京市) 自分ごと化会議 in 長岡京 第1回議事メモ

分科会	第4分科会(子ども・子育て)
コーディネーター	道官 丈晴
ナビゲーター	なし
説明担当者(自治体)	なし
日時	2020年12月12日(土) 14時から 16時
場所	バンビオメインホール
その他	参加者数 <u>20名</u> 欠席者数 <u>8名</u>

趣旨・概要

- 自己紹介(自己紹介、テーマについて一言)
- 感じている課題について
- 会長・副会長の選出

総括

コーディネーター総括

- 幼少期から地域での人と人との繋がりを大切にしていくことが大事。そのためにも子供会の活動をしっかりやる一方、子供会・自治会も現代社会の生活の変化に応じなければならないという意見が出た。
- 子育てを切り口に、今後どういうまちであつたらいいかというところを議論した。最初は長岡京市に不満があるかということから始めたが、参加者の皆は長岡京が大好きで、不満として挙げられたのは「道が狭いから広げてほしい」というくらい。
- 子どもの関係を聞くと、例えば自治会長さんの家が自営業らしいが、小学生が下校時にお店に入ってきて、お店の時計だけを見てすぐさま家に帰っていくことがある。「最近の子どもはどれだけ忙しいのか」と感じているようだ。
- 遊び場が多い少ないではなく、遊び場のルールがかなり厳しく、ボール遊びも自由にできない。
- 地域との関連を作っていく中で、幼少期から人と繋がっていくことが無くなってきていると感じる方もいて、「昔なら先輩後輩を通じて幼少期から遊び、そこでの繋がりが地域の繋がりに結びついていく」という意見があった。
- 子供会の話でも、長岡京市では自治会の中の下部組織として子供会がある。自治会の関連性が薄くなっていくと当然子供会の関連性も薄くなっていく。「まずは子供会の活動をしっかりやってもらい、そこにメリットを感じてもらうことで、幼少期から色々な人と繋がりを持って生活をしていく機会となる。核家族化が進んでいく長岡京市で

更にそういう機会を増やしていかないといけない」という意見もあった。いきなり「自治会に加入してくれ」と言われてもなかなか難しい。それとともに「自治会や子供会側も現代社会の生活の変化をもう少し理解して変えるところは変えていかないと、なかなか受け入れてもらえないよね」という雰囲気であった。

主な論点

論点① 学校、市内のWi-Fi環境について

- ・コロナの影響もあり、市内の学校のWi-Fi環境は整備が進んでいる。

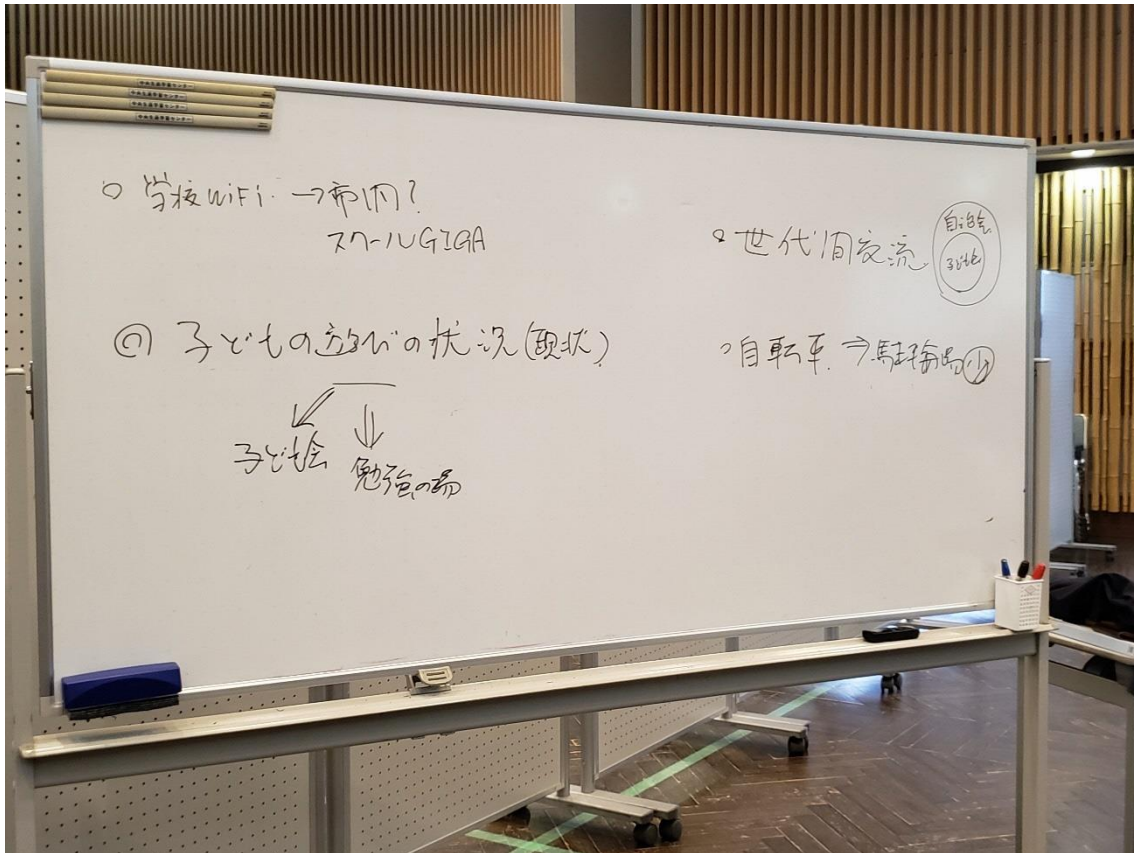
論点② 子どもの遊び場、学習できる場所について

- ・外で遊ぶ子どもが少なくなった。
- ・公園はボール遊び禁止のところが多い。なんでも禁止にするのではなく、時間帯で利用者を分けるなど、何かやりようはあると思う。
- ・年長者が年少者に面倒を見てもらう社会の縮図のような仕組みが無くなっているのかも。
- ・新興住宅地はまだまだ子どもが遊んでいるところをよく見かける。
- ・勉強できる場所がない。図書館にもスペースがない。

論点③ 子供会、地域とのつながりについて

- ・子供会の加入率が下がっている。役が回ってくることの負担感。
- ・若い世代の生活様式が変わってきているのに、自治会や子供会などの仕組みはあまり変わっていない。そのマッチングがうまくいっていない。若い世代が団体や組織との接点を持たずに来ている。いざ関わりを持とうとしても関わる場所がない。交流や情報を得るところも分からない、という状況になっている。
- ・子どもを産むときの不安を解消できる場所が地域にない。つながりが最初のところで途切れてしまっている。共感しながら一緒に子育てできるようなものがあれば、広がっていくのでは。

ホワイトボードの写真



協議の流れ

- コ) 今日は自己紹介をメインに進めていく。また今後の全体会において、分科会の議論の内容を発表していただく会長と副会長を選出していただく。お配りしている改善提案シートについては、可能であれば課題の欄を書いていただければ。完成させることが目的ではなく、次回以降、市役所の担当課から説明をする際に活用できればと思う。それでは自己紹介とテーマについて一言お願いしたい。この会議全体の共通テーマが「地域団体の役割と連携」で、この第4班のテーマが「子ども・子育て」となる。普段長岡京市に住まれていて課題に感じていることなどを話していただければ。まずは私から。香川県三木町(高松市の東隣)の職員。人口は2万8千人ほど。子ども福祉課で保育所の入所申し込みの受付や、保育所施設のメンテナンス、保育士や調理員さんの雇用関係の仕事をしている。生まれも育ちも三木町。三木町では平成23年から5~6年ほど毎年無作為抽出による住民協議会をしていた。会議名は「百眼百考会議」といい、協議会で出た提案に翌年度予算の1億円を使うことになっていた。(町予算は年間100億円)

自己紹介

メ) : メンバー、コ) : コーディネーター、P) : 市PT、市) : 説明担当者

- コ) 自己紹介と課題に感じていること、参加しようと思ったきっかけなどを聞かせていただいた。若い方では将来設計が不安という声、団体に活動されている方も多い。地域の変化を最前線で見られていると思う。休憩をはさんで、課題を整理したい。次の会で深掘りをするために、方向性を決め、市の担当課に来ていただき現状や取り組みを説明していただく。会長・副会長の選出も行う。

～休憩～

感じている課題について

- コ) 自己紹介を聞いていると、皆さん本当にこのまちが好きなんだなと感じる。それでは次につながる課題を出していきたい。
- メ) 学校に Wi-Fi 環境があればいいと思う。子どもが外でスマホを使うと通信費高くなる。学校内で Wi-Fi が使えれば安く済む。
- メ) コロナの関係で、学校の中のネット環境は整いつつあるようだった。先日四小に行ったときには、職員室で校長先生がお話するのを各教室に大画面で映して、集まらなくても集会をやるようになっていく。
- コ) 大学は今もオンライン？
- メ) ゼミや少人数の英語の授業は段階的に対面になってきたが、今年度中はほとんどがオンライン授業。
- コ) 市の取組状況は？
- メ) 先ほどおっしゃられたとおり、学校内の Wi-Fi 環境の整備を進めている。
- メ) 校内だけでなく、市内全域にフリーWi-Fiを整備してほしい。
- メ) 長岡京市はフリーWi-Fi少ないと思う。
- メ) 文科省から GIGA スクール構想(1人1台端末や ICT を活用した教育の推進)の方針が出されている。長岡京市も小中学生全員に iPad を配布するという構想はあがっている。将来的には端末を持ち帰って、ということもあると市長は言っていた。
- メ) 子どもの自由な時間を育てることが大事。自由に動いて、自分がしたいことを支援できる雰囲気があればいい。
- メ) 外で遊ばない子どもが増えているのは、道が狭いからではないか。そういったところが関係しているのかもと思い、家の前の道路が6mほどの交通量が少ないところを選んだ。どうしたら解決するのかは分からない。
- メ) うちの子がサッカーをやっていたのだが、公園ではサッカー禁止になっていた。ボール遊びしてはいけないなど厳しい規制がある。
- メ) サッカー禁止ではなく、小さい子が遊んでいるときは、ボール遊びに気を付けよう、というような言い方をしたらいいのと思う。何もかもダメだと子どもの考える力もつかない。誰もいないならボール遊びをしてもいいはず。なんでもかんでも禁止になってしまうのは違うと思う。
- メ) 年配の方がゲートボールをされるときに、時間帯を分けている例もある。そういっ

た形で棲み分けをするのも一つの方法。朝は年配の方がゲートボール、夕方は子どもたちがボール遊びなど。

- コ) 外で遊ぶ子どもが少ないという話がでたが、子どもが遊ぶ場所がないから少なく感じるのかなという印象を持った。
- メ) 高速道路高架下の公園には子どもたちがすごくいる。特に雨の日。新しい公園なので大人も交じって遊んでいる。サッカーしたり、ゲームをしたり。
- メ) 子ども同士で遊んでいるところを見かけない。年長者が年少者に面倒を見てもらう社会の縮図のような仕組みが無くなっているのかも。
- メ) 新興住宅地は子どもが多い。昔ながらの地域はそういう状況になっているのかも。一概に言えない。
- コ) 若い世代の方はどんな遊びをしていた？
- メ) 公園では、ボール遊びはできなかった。家でボール遊びをしていた。
- メ) 外ではあまり遊ばず、友達同士家に集まり TV ゲームやカードゲームをしていた。公園をあまり利用したことがない。
- メ) 私の家の前が公園。コロナで休校になった時期も、子どもたちは公園で遊んでいた。公園の前の道路も車通りが少ないので遊びやすいのかも。遊び場が大きいほうが遊びやすいのかな。
- メ) 勉強する場があまりない。図書館のスペースは勉強できない。仕方なくカフェに行くが、お金がかかるし子ども達にはしんどいと思う。
- メ) バンビオの空き室を利用した自習室があった。今もやっているかは分からない。
- メ) 公民館は利用申請をして空いていれば使えるが、カギを持っている人のところをお願いに行かないといけない。子どもが勉強に使うのは難しい。
- メ) 公園と同じ感覚でいけたらいい。
- コ) 居場所がないのかな。
- メ) 自営業で店をしているが、子どもが帰るときに店の時計を覗いてすぐに帰っていく。そんなに子どもが時間を気にするのかと思った。塾や習い事があるのかもしれないが。
- メ) 困りごとがあったときにどうしたらよいかを知るきっかけとして、まずどこに行けばよいか分からない。いつも気楽に行っている場所にそういう情報があればつながりにもなると思う。世代を超えて集まれる場所があれば。長岡京市は年代ごとに集まれる場所はかなり多くある。一堂に会して交流する場はないのかなと思う。
- メ) こらさは老人の方と子ども連れの方が集まっていると聞いた。ただアクセスが悪い。
- メ) 長岡京市はいろんなものが点在しているが、それぞれのアクセスが悪い。
- メ) 皆さんにお伺いしたいのだが、市内は車で移動する？
- メ) 自転車が多い。バス乗らない。
- コ) 自転車が多い。となると高台のところは行きにくい。遊び場や勉強の場も自転車で行くイメージか。

- メ) 子どもが校区を出るときは大人がついていかないといけない。どれだけ近くでも。
- メ) そのルールを破っていける子のほうがのびのびしている。
- メ) 駐輪場が少なく、上の段に持ち上げるのがしんどい。
- コ) 次につなげるために課題をまとめていきたい。最初は遊び場から。数の問題なのか、ルールの問題なのか、とにかく子どもが外で自由にのびのび遊べていない。遊び場の状況は子育て中の方はどこで知ることか？
- メ) 引っ越してきたので、市役所で教えてもらい、そこに行って、その地区の人にも教わった。
- メ) 子供の加入が少なくなっている。昔はほとんどの人が入っていた。子どもが小学校を卒業したら抜けてしまう。親が役をしなければいけないのが大変なのかも。勧誘しているけど入ってくれない。
- メ) 働き方が昔と変わった。父親は外で働き、母親は家庭を守るという時代から、女性の社会進出。土日は休みたいので、役をやるのは負担に。また、最近の子どもは習い事に必死な子が多い。その習い事の送り迎えを親がする。親も子ども地域で遊ぶということから、そちらにシフトしている状況がある。
- コ) もしかしたら遊び場の使い方にも影響があるのかもしれない。
- メ) 仕組みを変えるきっかけが条例になっていくはず。今までの仕組みで入れ入れと言っても無理が生じているということは明確になってきた。仕組みを変えていかないと。今まで通りでは済まない。
- コ) 子供会は自治会のなかにある組織？
- メ) 自治会から助成金が出ているから、自治会に入らないと子供会にも入れない。
- メ) 子供会の子どもは何歳まで？
- メ) 小学生。その上下は兄弟会という形でうちはやっている。
- メ) 子どもが外で遊ばないことについて、昔と比べて夏は気温が高すぎるということもある。
- コ) 生活のスタイルが変わったのと同様に、地球環境も変わった。
- メ) 我々は地域みんなで子どもを育てたいと思っているが、構わないでほしい、放っておいてほしいと思っている親も多いと思う。
- コ) 今の子どもたちを含む若い世代の生活様式が変わってきている。地域のなかでの世代間交流や自治会や子供会などはあまり変わっていない。そのマッチングがうまくいっていない。若い世代が団体や組織との接点を持たずに来ている。いざ関わりを持とうとしても関わる場所がない。交流や情報を得るところも分からない、という状況になっているのかなと思った。地域において、連携する組織や団体と、連携する対象の人たちがミスマッチを起こしている。
- メ) 初めて子どもを産むときの不安を解消できる場所が地域にあるかどうか。以前向日市に住んでいた時には、公民館にそういった場があった。いろんなお母さんとしゃべりながら不安が解消できた。そこでできたつながりはずっと続いていく。今の自

分の地域を見ると、ひとりでスマホを参考に子育てしている状況。人のつながりもできない。つながりが最初のところで途切れてしまっている。共感しながら一緒に子育てできるようなものがあれば、広がっていくのではと思う。うちの子供会もどんどん人が減っている。中学生まで対象にしているが、それでも6～7人。ベビーカーを押している人はよく見るのに。地元の自治会館で、おもちゃを持ち寄り遊べる場を作るのが夢だった。

- メ) 親が地域の人に関わってほしくないのではないかと、という話があったが、そんなことはないと思う。ただ、地域の自治会や子供会に深く関わっていくと役が回ってくる。ここがネックになっている気がする。
- メ) 3世代で住んでいる家庭が少ない。〇〇ちゃんのおじいちゃん、おばあちゃんとかかわりは素直に受け入れられるけど、あまり知らない地域のおじいちゃん、おばあちゃんは怖いのかも。
- メ) 今子供会の会長をやっているが、担い手がない。親としてはなんらかの関わり合いがあるのは安心。子供会はあってほしいけど、役が回ってくると無理という話になる。うちの地域は子供会だけでやっている行事が多い。子供会だけでこれはやめよう、企画を変更しよう、ということが出来るが、ほかの地域の話を知っていると自治会の下部組織のような位置づけで、お金も自治会から出ているので、変えたくても変えられないという現状があるのではないかと。
- コ) そろそろまとめに入る。次の課題の方向性としては、地域やいろいろな人とかかわりあいを含めて、市が様々な子育て支援施策をやっていると思うが、関わり合いをもつ施策はどれだけあるのか。遊び場としての居場所の問題も。子供会の話も多く出た。加入率含めた現在の状況と、市がどうかかわっているのかは分からないが、子供会と市の関わり、どう促進していくのかの方向性があればそれを聞きたい。のびのびと子どもたちが過ごす場があれば、子どもたちの成長だけでなく、他者との関わり合いを通じて、連携を学んでいくきっかけとなる。そのあたりの情報を出していただく。

会長・副会長の選出

- コ) 最後に会長・副会長の選出を。どなたか立候補は。
～ 会長・副会長 に決定 ～

次回の分科会に向けた準備

次回の分科会の目標

- 子供会同士との連携に関する話から、子どもを産んでからの子育て支援、子どもの遊び

メ) : メンバー、コ) : コーディネーター、P) : 市 PT、市) : 説明担当者

場（主に公園）の場所と利用状況について市から説明のうえ、議論していく。

- 子供会同士での連携事例の紹介を担当部署から、子どもが生まれてからの子育て支援施策の説明を担当部署から、子どもの遊び場（主に公園）の場所と利用状況の説明を担当部署から
- 次回については、長岡京市は核家族が多いと思うが、最初に子どもを産んでから、色々と不安を抱えている中で、どのような子育て支援をしているのか、子育て施策や、遊び場の場所と利用状況を説明してほしい。そして、子供会の状況について、自治会と同じように衰えているのか、どのような活動をしているのか、また、子供会は自治会の下部組織なので、子供会同士で連携して情報共有することはあまりないような話が挙がったが、子供会連合会みたいなのがあればそれを、なくとも子供会同士で連携しているような話があれば、そういったことを紹介してもらいたい。

次回の分科会に向け準備する資料等

上記内容に沿った資料を作成のうえ事前配布

- ① 上記市説明者内容に沿った資料
 - ② 核家族化の進行状況がわかるデータ
 - ③ 若い世代や子育て家庭の生活スタイルの変化や意識の変化がわかるもの
 - ④ 自治会や子供会やPTA等団体の現状意識や課題点等がわかるアンケート調査等の結果（無作為抽出時のアンケート以外）
 - ⑤ 放課後の子どもの過ごし方や状況がわかるもの
- ※ これらについては、子ども子育て支援事業計画や総合戦略策定時のアンケート結果や各種意識調査等の結果で代用できるもので十分だと思います。

子どもというキーワードを通して、高校生や大学生についても、実は学校や家庭以外の場所で居場所がないという話があった。（図書館や公共スペースで勉強できない等）もし市の方で「ここなら勉強できるよ」とか「自由に過ごせるよ」といった場所があれば教えてほしい。

備考（その他、記録すべき事項を適宜追加）